

団長の独り言

12月3日(土)「障がい者週間記念行事」

今日(12月3日)は板橋区障がいサービスク主催の「障がい者週間記念行事」のイベントがあった。毎年恒例行事で、区内で活動する数十の福祉関係の団体が板橋区立グリーンホールに集結し、各団体のPRをしたり、作業所で作った小物やクッキーを販売したり、バルーンアートで動物等を作っている団体もあり、2階のホールでは、和太鼓の演奏にコーラス等のエンターテイメントも行って、この日1日、グリーンホールは大賑わい。

そのイベントに、我が劇団ふあんハウスも出展者として参加させていただいた。今年で100回位にはなるかもしれない。今年の出し物は、メンバー達からの様々な意見やアイデアを募り、そのアイデアを実行するというブースとなった。例えば：・公演映像に合わせたの音声ガイド実演や、劇団ふあんハウスの歴史を映像で紹介する動画に、稽古風景を撮影した動画の視聴。

更にメンバー達による歌と踊りとアクションによるパフォーマンス、点字台本の展示、お客様参加型演劇体験イベント等、これまでの平面のみの展示ではなく、立体的に劇団ふあんハウスを紹介するというスタイルで挑んでみる事に。

劇団ふあんハウスブースには、いつもの揭示物と劇団ふあんハウスのノボリの他に、「電子ピアノ」「32型のモニター用テレビ」「ハードディスク内蔵ビデオデッキ」、「音声ガイド用・ステレオラジカセ」を持ち込む。電子ピアノは、アマテアズによる生演奏用で、テレビモニターは様々な映像を流すのに用いて、ラジカセは音声ガイド実演で使う。

午前中は、5名のメンバーで来場者の方への対応をしていたのだが、午後からはさらに4名のメンバーも加わり、黄緑色の劇団ふあんハウスの半被を着た9名ものメンバー達が来場者の方へのおもてなしを行うのだが、モニターから流れる「久美・美容室物語」の公演の様子と、劇団ふあんハウスの歴史を紹介する映像の効果は絶大。

来場者の方は、興味深げにモニターの前に立ち止まり、じっと映像を眺めるので、すかさず説明員のメンバーがバリアフリー観劇サポートの話を切り出せば、「へえー」「なるほど」と感心される。

私も営業マンのように、ブースにお越しの方に劇団ふあんハウスの事を説明していると、「私、劇団ふあんハウスをフェイスブックもフォローしてます！あれ？もしかして団長さん！？」と言って声を掛けて下さる方もいて、いやあくありがたい。

そんな中、アマテアズの生演奏が入ると、「素敵！」とアマテアズのピアノ演奏に

耳を傾けて下さる方も結構いらっしゃるので、私はすかさず「次回公演で披露させていたたくダンスを御覧ください」と言ってお客を促すと、9名のメンバー達は、「人生芸夢」に登場する「フーフードンス」を踊り始める。

その賑やかな音色と歌声にひきつけられるように、会場にいらっしゃる方々がドンドン集まって来て、劇団ふあんハウスブース前は、みるみる人だかりが出来る。

こうなりゃーなんでもござれ！ってな感じになってきた私は、「次はお客様からのリクエストにお答えします！どんな曲でも大丈夫ですよ」と、全く打ち合わせにない私の得意？な突然思い付きムチャぶりをすると、アマテアズは「えっ！？どんな曲も！」とやや顔が引きつっていたが、完全にお祭り気分となっている来場者の方から、「川の流れるように！」という声飛び出す。

するとメンバーのみっちゃんが、物おじする事なく、「では！」とばかりに、アマテアズの伴奏に合わせ、「川の流れるように」を振りつきで大熱唱。

さすが！劇団ふあんハウスの看板女優！マイクなしで、しかもこの場所です！堂々たるものだと感心していると、なんと次のリクエスト曲は、「銀座の恋の物語」。この場にいる劇団メンバーを見渡すと、男性は私だけ：こうなりゃ覚悟を決め、私は石原裕次郎になりきって、浅丘ルリ子風のみっちゃんと熱唱しました。

いやはや：それにしてもこの歌：うの何十年ぶり？「おじさんが若い頃は、スナックやらパブやら行くとね、必ず誰かしらがこの曲をデュエットしていたんですよ」なんて言うのと、会場からは笑と暖かい歓声と拍手。

あとは「殺陣」の稽古風景もビデオで流していたのを御覧になった、お向かいのブースの団体さんが、バルーンアートで刀を作って下さったので、その刀を使っての「殺陣」を実演し、来場者の方向けの「殺陣教室」も行う。

小学生のお子さんが「やあく」と言って私を切りつけるので、私は目をひん剥いて、超スパー大袈裟に切られて倒れると、ここでも笑いと拍手が！

そうこうしてうちに、終了時間近となったので、次回公演「人生芸夢」のテーマ曲「夢のとおり道」を、劇中で歌う二人の歌姫、鈴木千秋と萱場まり恵が、振り交えてハモリながら熱唱すると、会場は感動と興奮の渦？に包まれながらイベントは終了した。

いやあく楽しかったなああくでも劇団ふあんハウスの紹介になったのかな？まあなっただよね！いずれにしても、ここでも劇団ふあんハウスのチームワークが発揮され、来場者の方にも楽しんでいただけ、いいエネルギーのまま、この日のみんなは、いつもよりも絆の強まった雰囲気の中、充実した稽古を行ったのでした。